

# さいたま市一般廃棄物処理基本計画改定に伴う市民意識調査 調査報告【概要版】

## 1 調査の概要

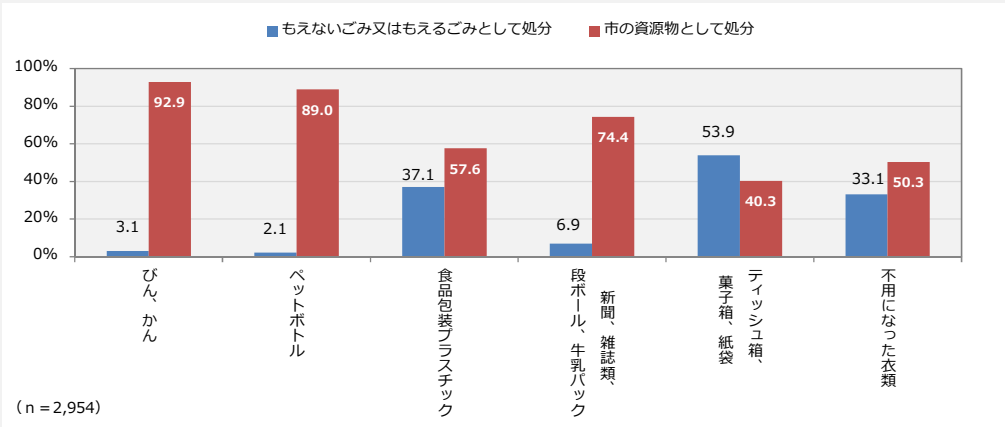
- **調査目的** 家庭ごみに係る市民意識を把握し、「さいたま市一般廃棄物処理基本計画」の基礎資料とする。
- **調査対象** さいたま市在住の満18歳以上の男女 5,000人
- **調査期間** 令和3年9月3日～令和3年9月17日
- **有効回収数** 2,954 (回収率 | 59.1%)
- **質問事項** 1. ごみの分別 2. 市政との関わり 3. 3Rの意識・プラスチックごみについて 4. 食品ロス 5. 家庭ごみの新しい収集方法と有料化について

## 2 調査結果 (一部抜粋)

### 1. ごみの分別

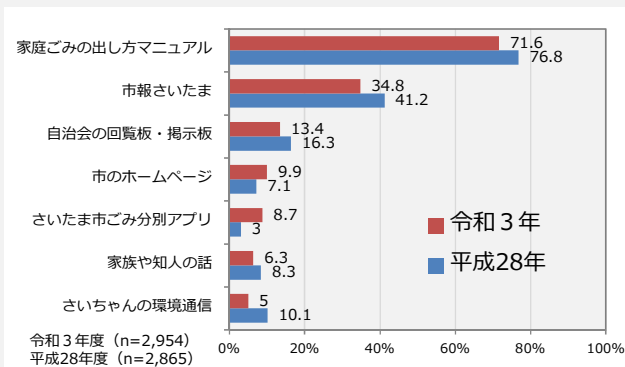
#### ■ 資源物として処分している割合 (市指定の6項目)

- ✓ 各資源物 (市指定の6項目) の処分方法を聞いたところ、「びん、かん」は92.9%、「ペットボトル」は89.0%と、**資源物として処分している割合が高くなっている。**
- ✓ 一方、「ティッシュ箱、菓子箱、紙袋」を資源物として処分している割合は**40.3%**と低く、資源化せず、もえるごみとしての処分が53.9%と高くなっている。



### 2. 市政との関わり

#### ■ 市が発信する情報の入手方法 (TOP 7)



- ✓ 市が発信するごみの出し方やリサイクル情報の入手方法を聞いたところ、「**家庭ごみの出し方マニュアル**」71.6%が突出しており、次いで「**市報さいたま**」(34.8%)、「**自治会の回覧板・掲示版**」(16.3%)などとなっている。

- ✓ **紙媒体**による入手方法は平成28年度と比べ割合が減少している一方、**電子媒体**は増加している。

### 3. 3Rの意識・プラスチックごみについて

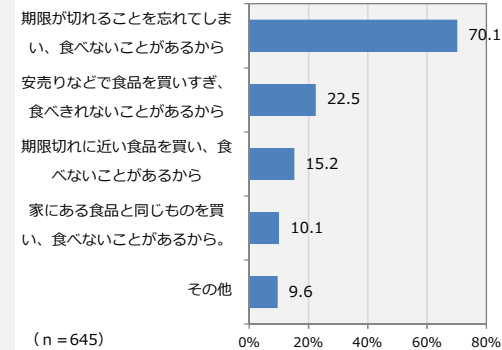
#### ■ プラスチックごみ問題解決のための取組

- 第1位 マイバッグの利用 (86.4%)
- 第2位 店で商品を購入する際はできる限りスプーンやストローなどをもらわない (54.0%)
- 第3位 マイボトルの利用 (49.0%)
- 第4位 屋外で出たごみは分別して持ち帰る (42.2%)
- 第5位 プラスチックの使用量を減らしたり再生材を利用したりしているなど、環境に配慮した商品を選ぶ (14.5%)
- 第6位 街中や河川敷、海岸などのごみ拾いをする (3.5%)

- ✓ **マイバッグの利用割合は86.4%と高かったが、ごみ拾いの取組は3.5%と低かった。**

### 4. 食品ロス

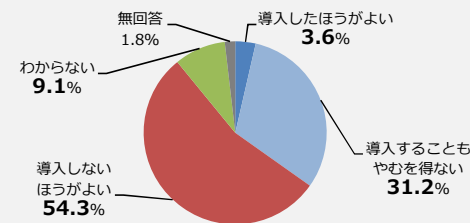
#### ■ 「手つかず食品」を出してしまう理由



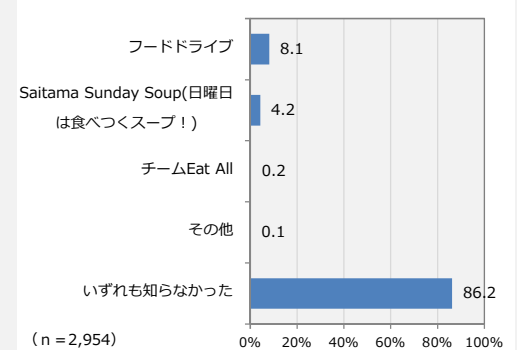
- ✓ **手をつけられないまま食品を捨ててしまう理由は食品の期限を忘れてしまうケースが圧倒的に多かった。(70.1%)**

### 5. 家庭ごみの新しい収集方法と有料化について

#### ■ 「家庭ごみ有料化」の賛否



#### ■ 市の食品ロス削減に関する取組の認知度



- ✓ **いずれの取組も認知度がかなり低く、いずれも知らない方がかなり多かった。**

#### ■ 「家庭ごみ有料化」導入反対の理由 (TOP 3)

- 第1位 **ごみ処理の費用を直接負担したくないから (45.9%)**
- 第2位 **ごみ処理事業を効率化して、費用を減らすのが先だと思うから (33.7%)**
- 第3位 **ほかのごみ減量対策に取り組むのが先だと思うから (31.0%)**

詳しくは、**市ホームページ**をご覧ください。

<http://www.city.saitama.jp/001/006/006/p050439.html>  
 トップページ>暮らし・手続き>上下水道・ごみ>ごみ・し尿に関する条例・計画>「さいたま市一般廃棄物処理基本計画改定に伴う市民意識調査」の調査結果をお知らせします

